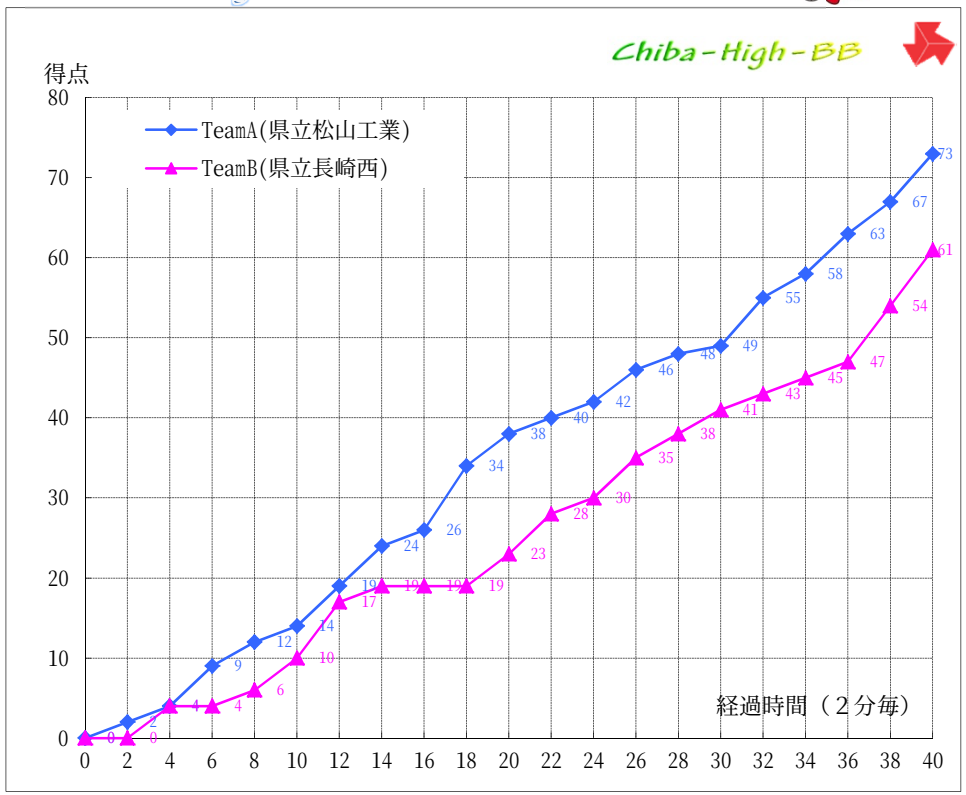
平成26年度　全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

InterHighSchool 2014 in Chiba　02D1

(男)１回戦

試 合 日： 2014/08/02
開始時刻： 9:30~
会　　場： 船橋市総合体育館
コ ー ト： Dコート
試 合 順： 第1試合(男)１回戦

Team A		Team B
県立松山工業	73	県立長崎西
(愛媛県)	14 — 10 24 — 13 11 — 18 24 — 20 —	(長崎県)



TeamA(県立松山工業)

№	PT	選　手　名	得点	3ﾎﾟｲﾝﾄ 成	2ﾎﾟｲﾝﾄ 成	ﾌﾘｽﾛｰ 成	反則	ﾘﾊﾞｳﾝﾄﾞ off	ﾘﾊﾞｳﾝﾄﾞ def	ﾘﾊﾞｳﾝﾄﾞ 計	ｱｼｽﾄ	ﾌﾞﾛｯｸｼｮｯﾄ	ﾀｰﾝｵｰﾊﾞｰ
4	-	林 知秀	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0
5	◎	上田　将貴	5	0	2	1	0	0	3	3	4	1	3
6	◎	坂田　光平	16	0	7	2	2	4	5	9	0	3	2
7	◎	片岡　昂大	5	0	2	1	0	1	0	1	0	0	0
8	○	那須　文哉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	○	篠原　翔一	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	○	重見　太智	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	◎	白石　靖弥	4	0	2	0	0	0	3	3	2	0	4
12	○	篠原　諒騎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	◎	本田　貴将	23	4	4	3	4	0	2	2	0	1	4
14	○	東浦　元樹	15	1	4	4	1	0	2	2	2	0	2
15	○	萩野　一洋	5	0	2	1	1	4	2	6	4	1	3
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	8	8	16			0
合　　計			73	5	23	12	8	17	25	42	12	6	18

TeamB(県立長崎西)

№	PT	選　手　名	得点	3ﾎﾟｲﾝﾄ 成	2ﾎﾟｲﾝﾄ 成	ﾌﾘｽﾛｰ 成	反則	ﾘﾊﾞｳﾝﾄﾞ off	ﾘﾊﾞｳﾝﾄﾞ def	ﾘﾊﾞｳﾝﾄﾞ 計	ｱｼｽﾄ	ﾌﾞﾛｯｸｼｮｯﾄ	ﾀｰﾝｵｰﾊﾞｰ
4	○	宮嶋　大知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	◎	中野　諭	9	1	2	2	2	0	0	0	3	2	2
6	◎	寺田　献	8	2	1	0	2	0	3	3	1	0	0
7	○	井手　威大理	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
8	◎	森山　湧斗	19	3	5	0	2	0	1	1	2	0	1
9	○	口石　剛大	5	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1
10	○	池田　健人	2	0	1	0	2	1	2	3	0	1	2
11	◎	松崎　颯馬	4	0	2	0	4	3	4	7	1	3	2
12	○	中山　侑樹	4	0	2	0	1	2	1	3	0	0	1
13	◎	後山　智樹	8	0	4	0	2	0	1	1	1	0	0
14	○	池田　琳苑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	○	髙原　芳槻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	4	4	8			0
合　　計			61	7	19	2	17	11	16	27	8	6	10

TO/CK/SS 千葉県高体連バスケットボール専門部　所属高校バスケットボール部

タイムアウト

	前半(1･2ﾋﾟﾘｵﾄﾞ)		後半(3･4)ﾋﾟﾘｵﾄﾞ			延１	延２	延３	延４
TeamA	4:27	-	35:28	38:15	39:38				
TeamB	16:27	17:56	34:55	38:31	39:09				

【戦評】

第１Ｐ、お互いハーフコートマンツーマンでゲーム開始。両チームとも激しいディフェンスにシュートが決まらず、得点が伸びない。５分過ぎから松山工業が＃５のスチールからの速攻や＃１３の３Ｐで１４－６と先にペースをつかむが、長崎西は＃８のドライブで応戦し１４－１０とする。第２Ｐ、松山工業は＃５のスピードあるドライブや＃１３の３Ｐで得点してオフェンスのリズムをつかみ、３８－２３とリードを広げ前半終了。第３Ｐ、松山工業は＃１１の１対１を中心に得点するが、長崎西が＃５、＃６、＃８の３Ｐで応戦し４９－４１と点差をつめる。第４Ｐ開始すぐに長崎西がセットプレーから４９－４３の６点差とし、流れをつかみかけるが、松山工業は＃１４、＃１３の思い切りの良いプレイで得点を重ね、残り５分６３－４５としたところで長崎西がタイムアウト。長崎西はオールコートマンツーマンプレスをしかけるが、松山工業がすぐにタイムアウトを取り、冷静にノーマークを作ってゴール下で得点する。長崎西は再度タイムアウトを取り、より激しいディフェンスをしかけ、相手のミスや＃８の連続シュートで残り１分６９－６１と追い上げて粘るが、松山工業がフリースローを連続４本決めて７３－６１で勝利した。

審判	庄司　周平　/　大倉 哲也　/	戦評	中田　都

千葉県高体連バスケットボール専門部